



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	7,628	△4.8	400	7.9	420	34.5	186	47.5
28年3月期第2四半期	8,008	5.5	371	91.5	312	40.2	126	54.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 36百万円 (△80.4%) 28年3月期第2四半期 186百万円 (△2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	5.47	—
28年3月期第2四半期	3.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	13,843	6,530	43.5
28年3月期	14,803	6,679	41.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 6,023百万円 28年3月期 6,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	△4.6	960	△13.2	960	△4.2	570	△5.4	16.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名）－、除外 一社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	36,142,529株	28年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,085,036株	28年3月期	2,082,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	34,059,087株	28年3月期2Q	34,065,140株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、株価の下落や円高進展に加え、中国をはじめとする新興国の景気減速の影響によって企業収益や個人消費の回復が足踏みするなど、先行き不透明な状況が続いております。

染色加工業界におきましては、国内では、衣料品需要が少子高齢化や人口減少などによって構造的に減少傾向にあることに加え、消費者の節約志向の強まりから百貨店などで衣料品販売の低迷が深まっており、受注環境は厳しさを増しております。一方、東南アジア地域では、今後も人口増加や中間所得層の拡大により衣料分野や生活関連分野などで需要増加が見込まれておりますが、タイでは、個人消費が依然として停滞していることに加え、インドネシアでは、まだ本格的な景気回復には至っておりません。

このような状況のもと、当社グループは、国内では染色加工事業で安定的な受注が期待できる非衣料分野の受注強化を進め、海外では、フィリピンに新たに販社を設立するなど、積極的に事業拡大を進めております。その一方で、非衣料化に伴う加工料単価の低下に対応するため、国内・海外の各生産拠点で原価低減活動の強化を進めており、グループ全体で収益力の向上に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,628百万円（前年同期比4.8%減、380百万円減）となり、保育サービス事業が増収となりましたが、主力の染色加工事業に加え、縫製品販売事業が減収となったことにより、全体で減収となりました。

一方、利益面では、営業利益400百万円（前年同期比7.9%増、29百万円増）、経常利益420百万円（前年同期比34.5%増、107百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益186百万円（前年同期比47.5%増、60百万円増）と各利益段階で増益となりました。これはインドネシア子会社の増益が大きく寄与したことによります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は5,681百万円（前年同期比6.5%減、394百万円減）と減収になりましたが、営業利益は357百万円（前年同期比29.7%増、81百万円増）と増益になりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

加工料部門の売上高は4,503百万円（前年同期比4.4%減、208百万円減）と減収になりました。

国内では、衣料品向け需要が市場の構造変化によって期待出来ないため、非衣料分野の受注増加に積極的に取り組んでおり、無地染加工は堅調に売上を伸ばしました。しかし、ニットプリント加工が、カジュアル婦人衣料の販売不振による流通在庫増加などの影響により、売上を落としたことに加え、非衣料化に伴う単価減少の影響により国内加工料部門全体で減収となっております。

海外では、タイ子会社が、タイ国内景気低迷の影響が続いており減収となりましたが、前期に実施した合理化の成果により、収益性は大幅に改善へ向かっております。その一方で、インドネシア子会社は、ローカル向けの受注を積極的に取り込み、売上数量を順調に伸ばしたことで、現地通貨ベースでは増収となり、原材料、エネルギー費のコストダウン効果が相まったことで、営業利益が増大し、染色加工事業全体における営業利益の増益に貢献しました。

（テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門の売上高は1,177百万円（前年同期比13.6%減、185百万円減）となりました。国内は既存顧客との取り組み強化や、新規顧客の開拓を促進し、ユニフォームや資材用途商品の販売増に努めましたが、一部製品の出荷が下半期以降にずれ込んだことなどの影響で減収となり、また海外では、インドネシア子会社において、旺盛なローカル向け市場に対応し、委託加工が大幅に増加したため、テキスタイル販売の売上は減少しております。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、売上高940百万円（前年同期比9.0%減、92百万円減）、営業損失26百万円（前年同期は営業利益20百万円）となりました。同事業は、インドネシア一貫生産体制に加え、新たにイベント用製品の販売等、取り扱う素材・商品の拡充を図りながら販売強化に努めましたが、店頭販売減少による既存客先の販売計画の減少に加え、バングラデシュの治安悪化により、現地での生産を縮小したことなどが影響し、厳しい業績となっております。

③保育サービス事業

保育サービス事業は、売上高998百万円（前年同期比11.5%増、103百万円増）、営業利益13百万円（前年同期比37.4%減、7百万円減）となりました。

同事業は、病院・企業内の保育所数や行政から受託運営する保育園数を順調に拡大し増収となりました。その一方で、利益面では、新規保育園開設などの業容拡大を目的とした費用が先行していることに加え、保育士の待遇改善を進めており、効率的な業務運営により経費削減に努めましたが、当四半期においては減益となりました。

④倉庫事業

倉庫事業は、売上高129百万円（前年同期比2.6%減、3百万円減）、営業利益0百万円（前年同期比64.0%減、0百万円減）となりました。

同事業は、国内染色加工事業における商量減少に伴い、荷役取扱量が落ち込んだことで減収となりましたが、経費圧縮により黒字を確保しております。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は121百万円（前年同期比12.1%増、13百万円増）、営業利益56百万円（前年同期比8.0%増、4百万円増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、13,843百万円（前連結会計年度末比6.5%減、960百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少744百万円、仕掛品の増加56百万円、投資有価証券の減少108百万円等によるものです。

負債は、7,313百万円（前連結会計年度末比10.0%減、810百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少303百万円、短期借入金の返済による減少354百万円、長期借入金の増加208百万円等によるものです。

純資産は、6,530百万円（前連結会計年度末比2.2%減、149百万円減）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加186百万円、配当金の支払による減少153百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の減少84百万円、為替換算調整勘定の減少118百万円、非支配株主持分の増加16百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、結果、平成29年3月期通期連結業績予想につきましては、平成28年5月9日公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,530,383	1,511,165
受取手形及び売掛金	4,317,728	3,573,617
商品及び製品	251,220	257,662
仕掛品	319,298	376,126
原材料及び貯蔵品	415,830	375,742
繰延税金資産	77,573	54,585
その他	127,754	180,790
貸倒引当金	△69,317	△75,686
流動資産合計	6,970,472	6,254,005
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,390,629	1,344,728
機械装置及び運搬具(純額)	1,814,600	1,779,850
土地	1,793,130	1,779,103
建設仮勘定	61,016	100,451
その他(純額)	379,328	315,165
有形固定資産合計	5,438,705	5,319,299
無形固定資産		
その他	43,116	42,376
無形固定資産合計	43,116	42,376
投資その他の資産		
投資有価証券	1,923,801	1,815,170
繰延税金資産	56,691	53,724
その他	376,520	364,594
貸倒引当金	△5,941	△5,941
投資その他の資産合計	2,351,071	2,227,548
固定資産合計	7,832,893	7,589,224
資産合計	14,803,365	13,843,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197,859	1,894,330
短期借入金	1,441,077	1,086,655
未払法人税等	152,872	88,971
賞与引当金	180,450	140,779
その他	1,061,315	985,450
流動負債合計	5,033,575	4,196,186
固定負債		
長期借入金	953,865	1,162,497
役員退職慰労引当金	16,199	15,770
退職給付に係る負債	1,202,546	1,200,631
資産除去債務	40,158	40,613
その他	877,181	697,326
固定負債合計	3,089,952	3,116,840
負債合計	8,123,527	7,313,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,386,502	1,419,612
自己株式	△394,654	△394,949
株主資本合計	6,691,968	6,724,782
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	388,180	303,223
為替換算調整勘定	△781,592	△900,124
退職給付に係る調整累計額	△108,906	△104,162
その他の包括利益累計額合計	△502,318	△701,063
非支配株主持分	490,187	506,483
純資産合計	6,679,838	6,530,202
負債純資産合計	14,803,365	13,843,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	8,008,964	7,628,006
売上原価	6,728,532	6,407,426
売上総利益	1,280,431	1,220,579
販売費及び一般管理費	908,946	819,765
営業利益	371,484	400,813
営業外収益		
受取利息	1,722	1,124
受取配当金	22,168	30,887
受取保険金	—	31,569
雑収入	6,410	19,972
営業外収益合計	30,301	83,555
営業外費用		
支払利息	20,239	12,279
為替差損	49,887	15,376
雑支出	19,294	36,504
営業外費用合計	89,421	64,160
経常利益	312,365	420,208
特別利益		
投資有価証券売却益	12,070	—
国庫補助金	—	36,557
特別利益合計	12,070	36,557
特別損失		
固定資産圧縮損	—	36,557
特別損失合計	—	36,557
税金等調整前四半期純利益	324,436	420,208
法人税、住民税及び事業税	88,411	111,746
法人税等調整額	18,899	19,100
法人税等合計	107,310	130,847
四半期純利益	217,125	289,361
非支配株主に帰属する四半期純利益	90,789	102,982
親会社株主に帰属する四半期純利益	126,335	186,379

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	217,125	289,361
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,990	△84,957
為替換算調整勘定	△51,974	△165,113
退職給付に係る調整額	7,594	△2,717
その他の包括利益合計	△30,388	△252,788
四半期包括利益	186,736	36,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,915	△3,193
非支配株主に係る四半期包括利益	66,820	39,766

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	324,436	420,208
減価償却費	217,806	210,750
補助金収入	—	△36,557
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△79,700	△7,422
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	15,280	6,393
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11,591	△39,670
受取利息及び受取配当金	△23,891	△32,012
支払利息	20,239	12,279
為替差損益 (△は益)	46,937	△14,254
有形固定資産廃棄損	11,383	3,733
固定資産圧縮損	—	36,557
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12,070	—
売上債権の増減額 (△は増加)	527,307	659,234
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△102,202	△67,345
仕入債務の増減額 (△は減少)	△243,565	△251,244
未払費用の増減額 (△は減少)	14,257	△24,073
その他	△150,301	△98,568
小計	577,506	778,006
利息及び配当金の受取額	23,891	32,012
利息の支払額	△20,578	△11,993
法人税等の支払額	△64,576	△169,025
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,242	628,999
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,466	△412
有形固定資産の取得による支出	△223,827	△241,537
投資有価証券の売却による収入	25,660	—
子会社株式の取得による支出	—	△13,691
補助金の受取額	—	36,557
その他	329	△1,565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199,304	△220,648
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△112,946	△400,000
長期借入れによる収入	300,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△279,649	△338,687
リース債務の返済による支出	△72,734	△69,880
配当金の支払額	△136,478	△153,493
非支配株主への配当金の支払額	△23,640	△30,268
その他	△518	△295
財務活動によるキャッシュ・フロー	△325,968	△392,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,836	△22,032
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,866	△6,306
現金及び現金同等物の期首残高	1,587,717	1,425,204
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,569,851	1,418,897

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,074,459	944,496	895,369	7,493	7,921,819	87,144	8,008,964	—	8,008,964
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,588	88,712	—	124,983	215,284	21,373	236,657	△236,657	—
計	6,076,048	1,033,208	895,369	132,476	8,137,103	108,518	8,245,621	△236,657	8,008,964
セグメント利益	275,654	20,420	20,990	1,095	318,160	51,914	370,074	1,410	371,484

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,410千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,681,408	839,686	998,636	5,896	7,525,628	102,377	7,628,006	—	7,628,006
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	333	100,832	—	123,109	224,275	19,225	243,500	△243,500	—
計	5,681,742	940,519	998,636	129,005	7,749,903	121,603	7,871,507	△243,500	7,628,006
セグメント利益又は 損失(△)	357,563	△26,532	13,140	393	344,564	56,068	400,633	180	400,813

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額180千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。